

小公園・道路の造成など大改造 今までにない近代的な都市づくりを

花園土地区
画整理事業

きのう農地であった所に
た—ということばが表現す
るよう、この頃の留萌市
の街は激しく動いています
しかし、農地ばかりでな
く、このようなことを放つ
ておると、不規則な街並み
ができますが、いま留
萌市では、東光小学校周辺
の花園地区で都市計画事業
を進めています。

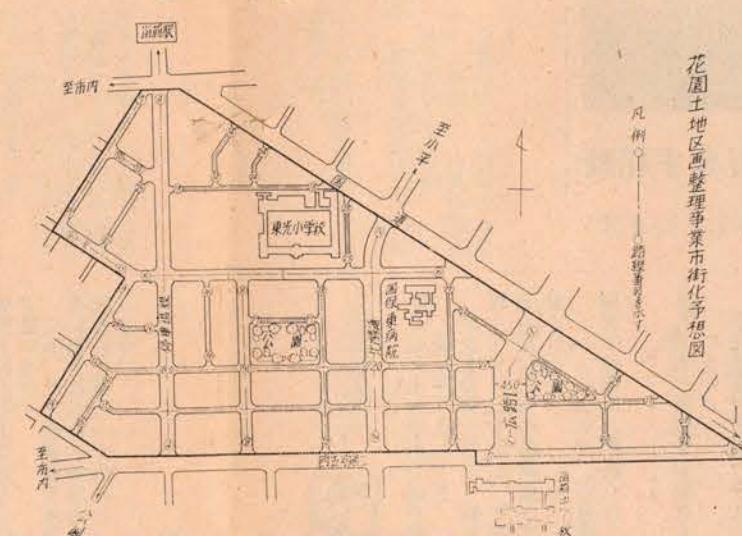
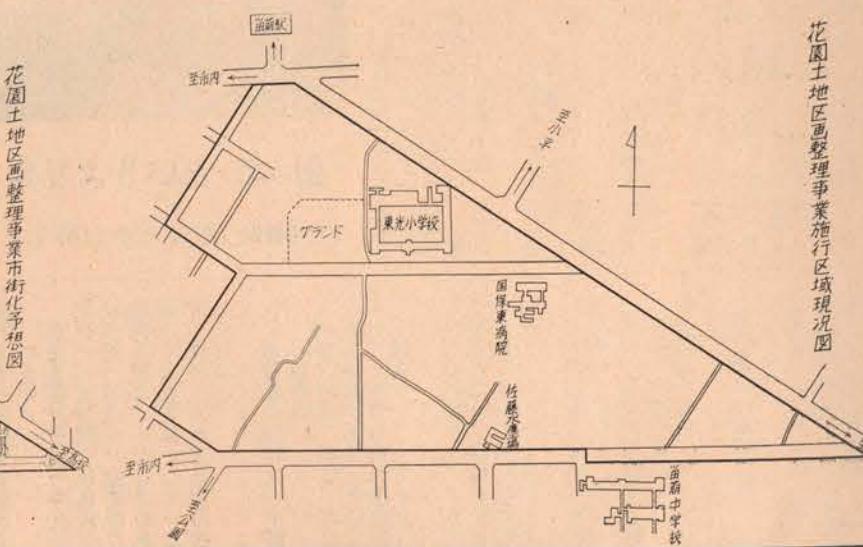
このように、計画的な
まちづくりは、都市の発展に
なくてはならぬものです。
ここに都市計画の必要さ
があるわけですが、いま留
萌市が、いろいろ不便が
つたり—といろいろ不便が
できます。

写真—このよなまち
も都市計画事業から
(市内中央大通り)

都市計画事業といえば、
ます最近では、元町地区の
都市計画事業を思い出され
ることと思います。

今まで、元町地区は、
ともすれば暗い感じを与え
ていたのが、都市計画事業
を行つた後は、整然と井然
とに整理された街並み、二
級国道の切りかえや舗装に
よつて見方がえるようなま
ちになつたことは、みなさ
まよくご存じの通りです。

とくに、この事業が行わ
れるには、新らしく作る道
路にかかる私有地を、別に
土地をみつけて権利を取
したり、家屋移転に、
で移転費を補償したり、非
常にめんどうな手続きと多
額の予算が必要だつた
ですが、それにまし
もともとこの地区は、付
近に駅前の繁華街を持つ
市の形態上重要な所にあり
ますが、留萌市のまちが東
に伸びるという現在の状勢
から、この地区を早い機会
に都市計画を行なうことに
なつたものです。



総面積約七万一千坪に及ぶこの地区に、昭和四十一
年の事業完成をめざして、昭和三十七年から事業が進
められ、駅前からの直線道路はじめ多くの道路、さら
に二つの小公園と、今までとは見違えるほどのま
ちにしようというわけで
その事業費も、基本事業
費約一億八千万円をかけ、
そのうち国庫補助が三分の
二、残る約六千万円の市費
持出しで行われることにな
ります。

その事業費も、基本事業
費約一億八千万円をかけ、
といふことばがあつてはまる
よな、大がかりなもので
つります。

この地区は、現在工業地
区、商業地区、住宅地区が
入りまじっていますが、こ
の都市計画事業後は、工業
に使うことはさて、もつぱ
ら商業、住宅地区として性
格づけられることになりま
す。

この事業の難かしい一つ
に家屋移転があります。
およそ百三十戸にのぼ
る家屋の移転が予想されて
ましたが、現在まで二十三
戸の移転が完成し、残るも
のも、大部分が移転のメド
がついたということで、事
業は順調に進められています。

しかし、せつかりつば
な計画も市民みなさまのご
理解とご協力がなければ実
現できません。

留萌市の将来に百年のく
いを残さないよう、計画通
り四十一年度の工事完了を
お互に協調して進めたい
ものです。

